

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

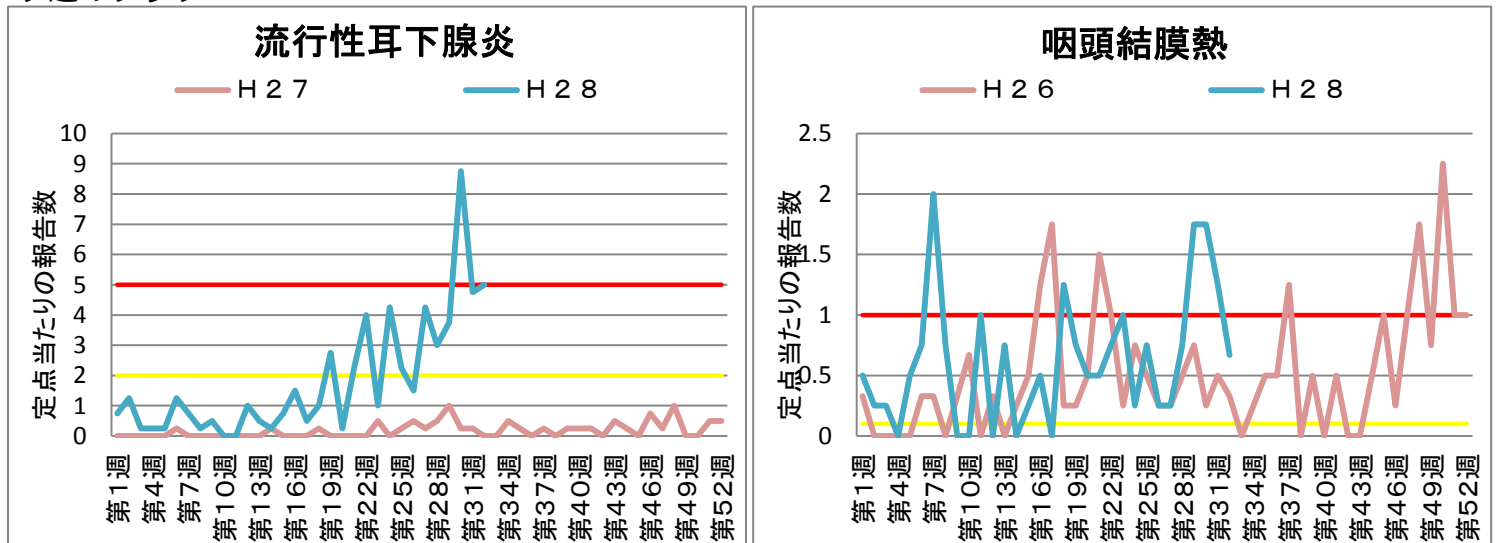
第 32 週 平成28年8月8日 ~ 平成28年8月14日

今週のコメント

○流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告は横ばいで、流行警報基準値の定点当たり5.0件でした。欠席者情報収集システムでも、お盆明けに流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の児が増えている保育園もあり、まだ、注意が必要です。

○流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスの感染を原因として発症する感染症で、感染経路は接触感染・飛沫感染です。2~3週間の潜伏期を経て発症し、片側または両側の耳下腺の腫脹、疼痛、発熱を主症状とします(無菌性髄膜炎、脳炎、難聴、睪炎などの合併症を起こす場合があります)。症状に気付かれた場合は、はやめに医療機関を受診しましょう。効果的な予防方法は、ワクチン接種です。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	2.33
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.67	突発性発しん	1.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	百日咳	-
感染性胃腸炎	2.67	ヘルパンギーナ	0.33
水痘	0.67	流行性耳下腺炎	5

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

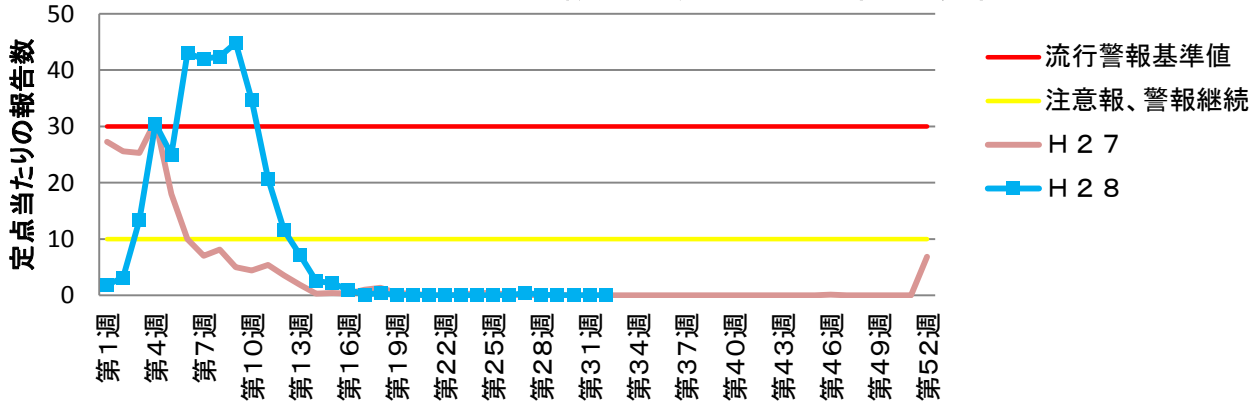
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

警報・注意報基準値の説明

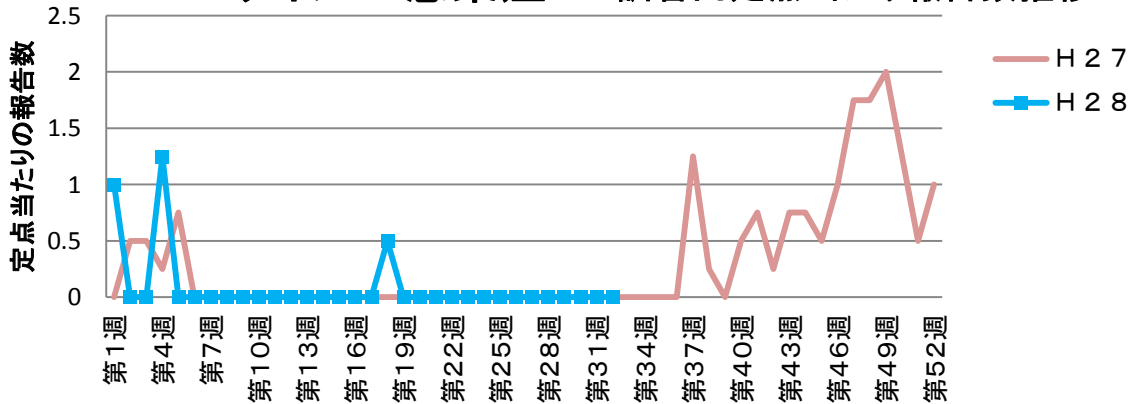
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

定点報告による各疾病の推移

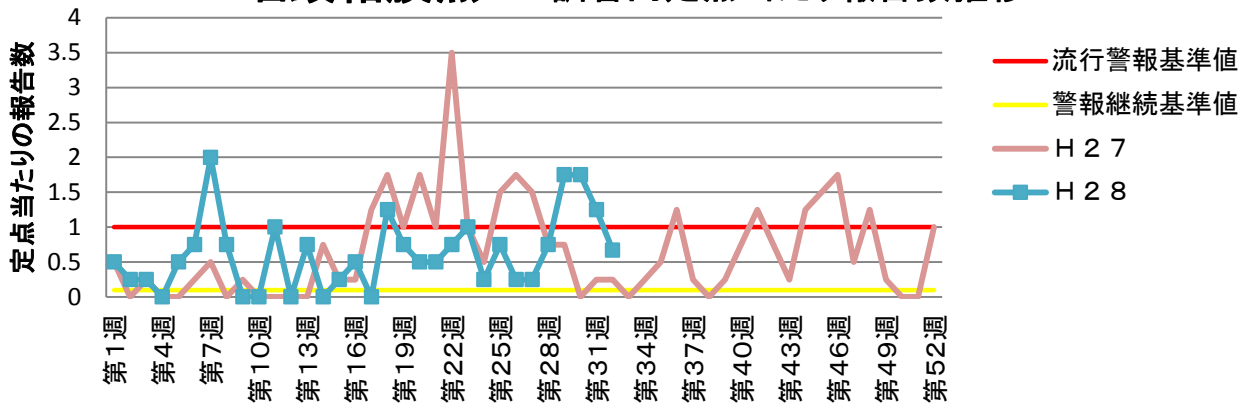
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



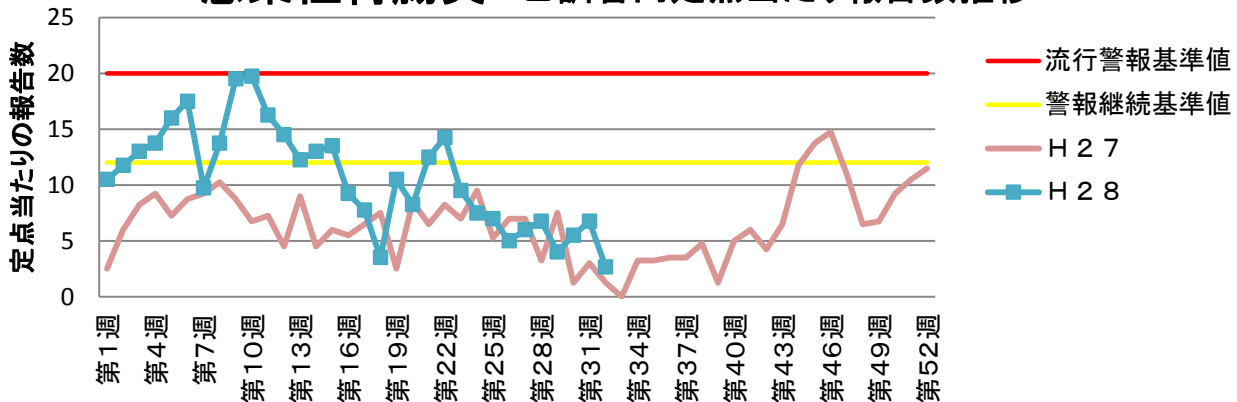
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



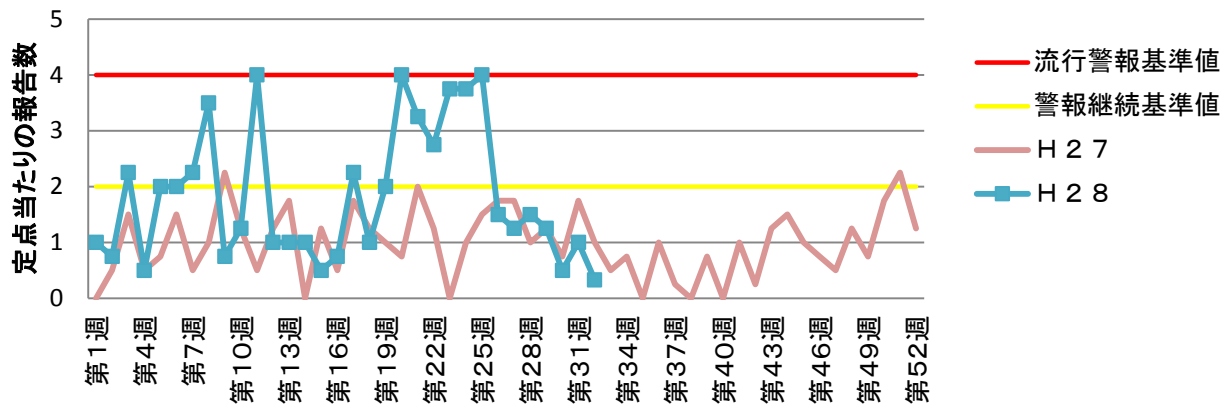
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



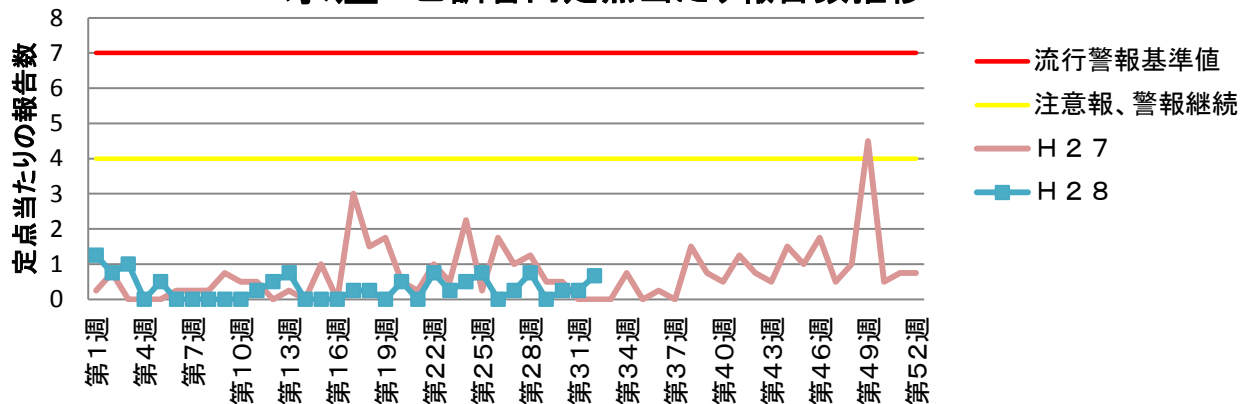
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



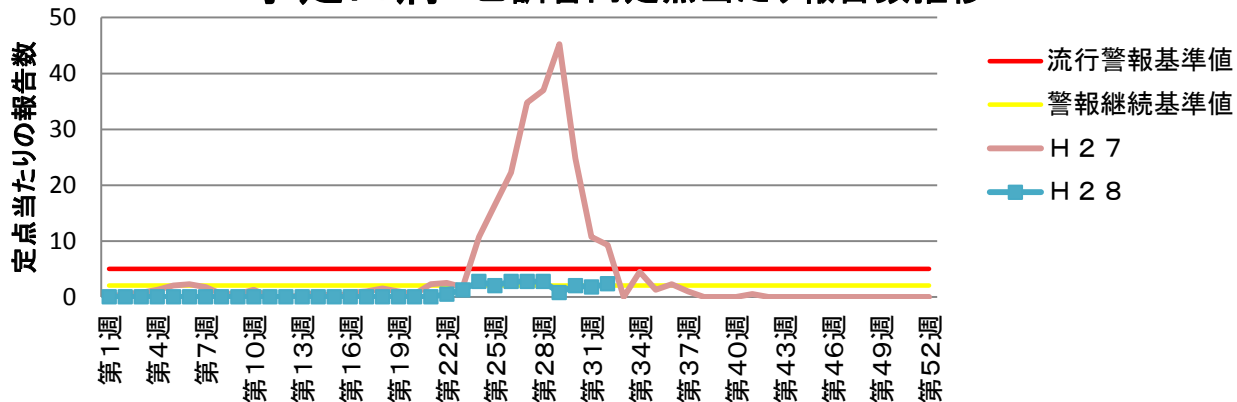
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



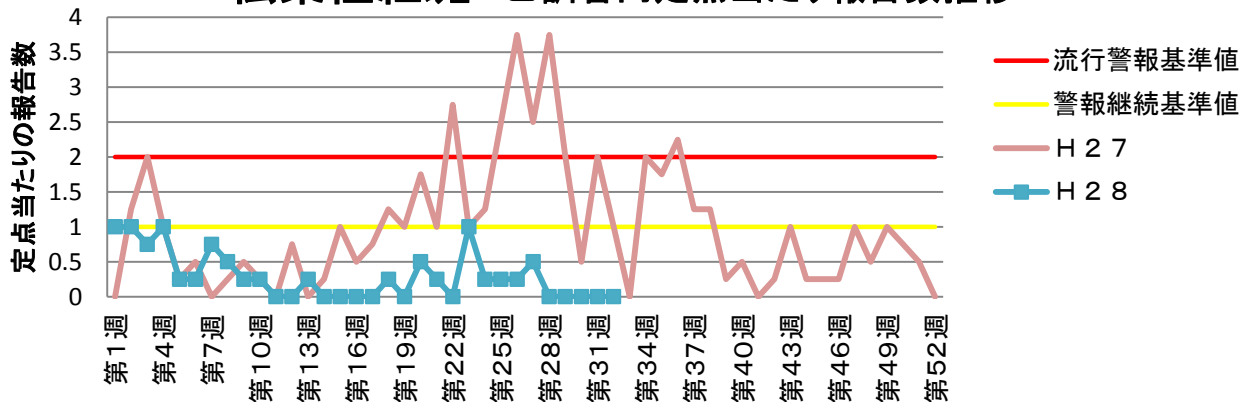
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



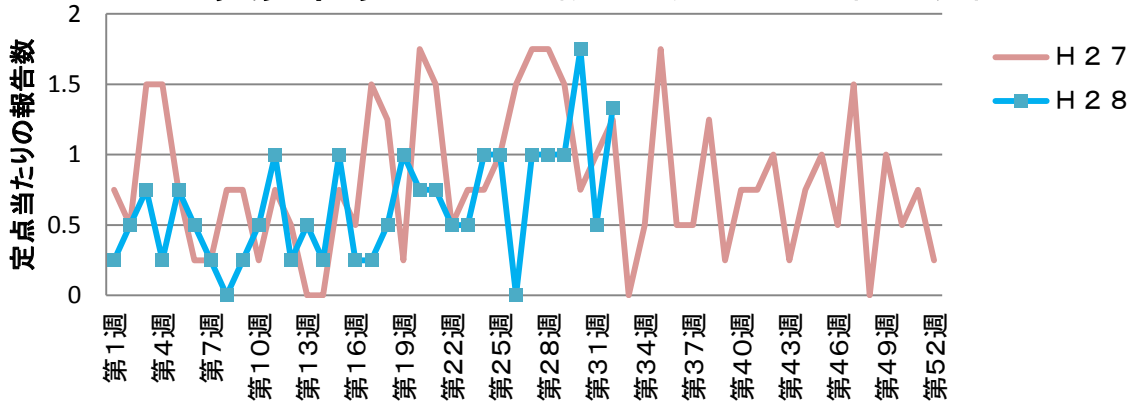
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



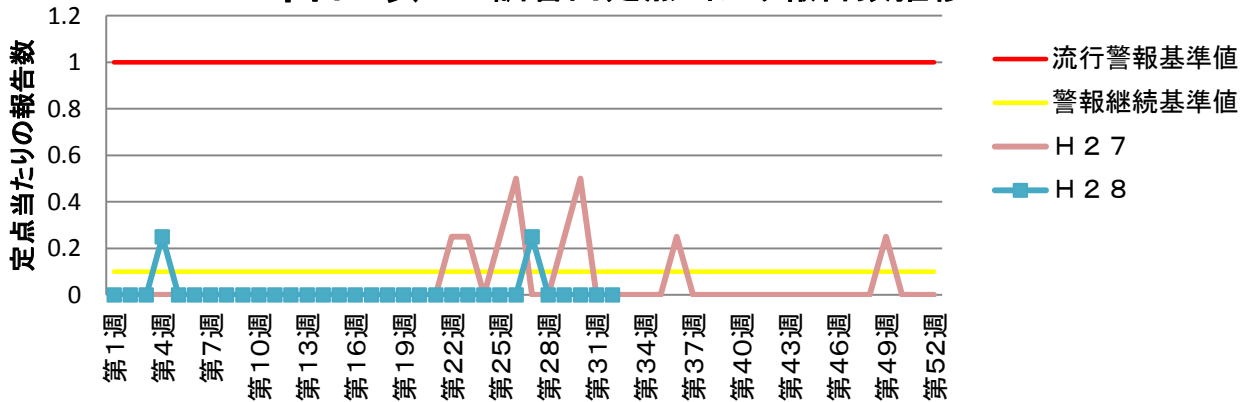
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



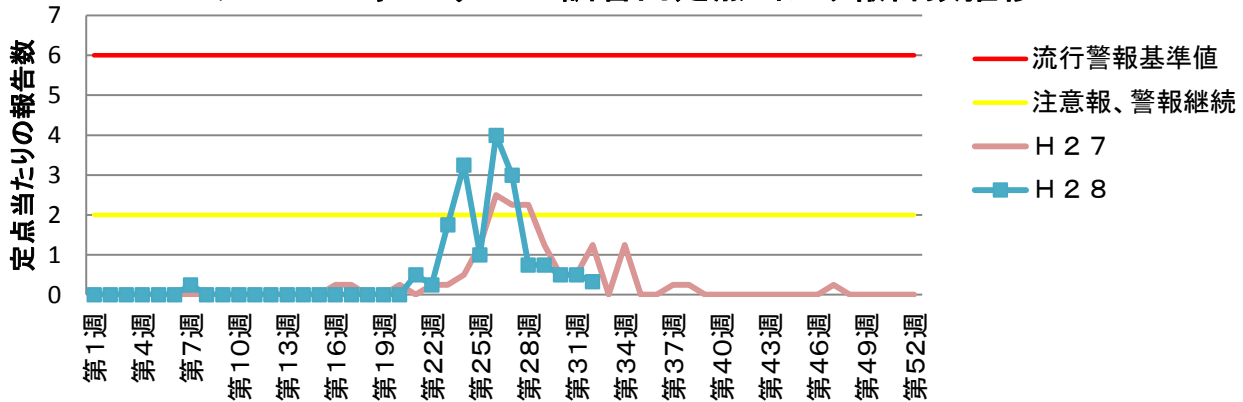
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

